

第17回大気ライダー研究会プログラム

開催月日：2013年3月7日（木）

開催場所：首都大学東京秋葉原キャンパス

10:00-11:40 エアロゾルのライダー観測(I)

司会：酒井 哲（気象研）

(1) JARE52 行動中の「しらせ」搭載シーロメーターによるエアロゾル・雲の連続観測

○村山利幸（東京海洋大）、小林 拓（山梨大）、塩原匡貴（極地研）、林 政彦（福岡大）

(2) 黄砂・煙霧発表時におけるライダー消散係数の統計解析

○清水 厚、杉本伸夫、松井一郎、西澤智明（国立環境研）

(3) シーロメーターとライダーの比較観測

○神 慶孝、甲斐憲次（名大環境）、永井智広、酒井 哲、山崎明宏、内山明博（気象研）

(4) 衛星ライダーを用いたサハラダストの大西洋域への輸送に関する研究

○田村勇一、甲斐憲次、神 慶孝（名大環境）

(5) 地上ライダーを用いた日本の都市域における大気境界層の構造に関する気候学的研究

○小畑敦史、神 慶孝、甲斐憲次（名大環境）、杉本伸夫（国立環境研）

11:40-11:45 休 憩

11:45-12:20 特別講演&国際会議案内

司会：長澤親生（首都大）

11:45-12:15 特別講演

(6) 中国の大気汚染の状況と日本への影響：ライダー観測の重要性

○杉本伸夫（国立環境研）

12:15-12:20 国際会議案内

(7) 国際シンポジウム ISALSaRS'13 のご案内

○甲斐憲次（名大環境）、河本和明（長崎大環境）

12:20-13:30 昼 食

13:30-14:30 エアロゾルのライダー観測(II)

司会：白石浩一（福岡大学）

(8) チリ・プジェウエ火山噴火による火山性エアロゾルの地上ライダー観測 (Lauder) について

○中前久美、内野 修、森野 勇（国立環境研）、Ben Liley (NIWA)、酒井 哲、永井智広
（気象研）、横田達也（国立環境研）

(9) CALIOP データによる 2010/2011 年冬季北極 PSC の特徴

○近藤聖士、柴田 隆（名大環境）

(10) 2010 年から 2011 年にかけて低緯度上部対流圏で観測された火山性エアロゾル層

○木下太郎、柴田 隆（名大環境）

14:30-14:35 休 憩

14:35-16:15 各種ライダー技術

司会：柴田 隆（名大）

(11) 対流圏オゾン観測用差分吸収法ライダーの改良

○内野 修、森野 勇、横田達也（国立環境研）、永井智広 酒井 哲（気象研）

(12) 2 μ m コヒーレント DIAL による CO₂ 計測

○水谷耕平、石井昌憲、Philippe Baron、岩井宏徳、小田僚子*、
板部敏和（情報通信研究機構）、小山瑞樹（首都大）、佐藤 篤、浅井和弘（東北工大）
*（現在、千葉工大）

(13) 直接検波方式 1.57 μ m CO₂-DIAL の現状

○柴田泰邦、長澤親生、阿保 真（首都大）

(14) 局地豪雨予測のための小型水蒸気 DIAL の開発

○阿保 真、柴田泰邦、長澤親生（首都大）、酒井 哲、永井智広（気象研）

(15) 国際宇宙ステーション搭載植生ライダーの研究

○室岡純平、境澤大亮、今井 正、小林高士、鈴木桂子、山川史郎、佐藤亮太（JAXA）

16:15-16:20 休 憩

16:20-17:40 中間圏金属観測ライダー・レイリーライダー観測 司会：中村卓司（極地研）

(16) トロムソナトリウムライダー観測の拡張性について

川原琢也（信州大）、○津田卓雄（国立極地研究所）、野澤悟徳（名大 STE 研）、
齋藤 徳人、和田智之（理研）、川端哲也（名大 STE 研）、藤井良一（名大 STE 研）

(17) 多波長共鳴散乱ライダーによるカリウム層の観測

○江尻省、津田卓雄（極地研）、阿保真（首都大）、川原琢也（信州大）、中村卓司（極地研）

(18) 南極昭和基地上空で観測された高高度 Na 層イベント

○津田卓雄（極地研）、Xinzhao Chu（コロラド大）、中村卓司、江尻 省（極地研）、
川原琢也（信州大）

(19) 南極レイリーライダーの 82cm 望遠鏡用エタロン仕様の最適化

○山本晃寛、川原琢也（信州大）、鈴木秀彦（立教大）、阿保 真（首都大）、
中村卓司、江尻 省（極地研）